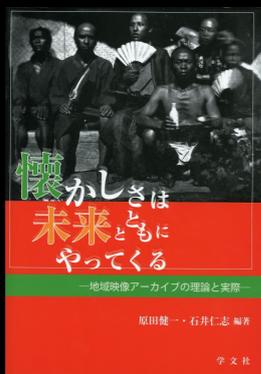


# 発表者の「アーカイヴ」に関わる文章／発表



## 「写真とアーカイブ——キャビネットのなかの世界」

原田健一、石井仁志編『懐かしさは未来とともにやってくる——地域映像アーカイブの理論と実際』、学文社、2013



## 「産業資本主義の画像=言語——写真アーカイヴとセクラー」

『PARASOPHIA京都国際現代芸術祭2015 [公式カタログ]』2015

2012年 9月 発表「写真アーカイヴ論の諸相」、シンポジウム「映像アーカイブ——記憶の共有化と創造」、於・新潟、砂丘館

2014年 6月 発表「写真とアーカイヴ——旅行写真、鉄道写真を例として」、第一回アーカイヴ研究会、於・京都市立芸術大学芸術資源研究センター

2015年 9月 発表「抽斗は開けないと見えない——キャビネットと不可視性」、京都市立芸術大学芸術資源研究センター・シンポジウム「ほんまのところはどうなん、「アーカイヴ」～初心者にもわかるアーカイヴ論～」於・京都芸術センター

2016年 2月 コメンテーター、京都市立芸術大学芸術資源研究センターワークショップ「メディアアートの生と転生——保存修復とアーカイヴの諸問題を中心に」（高谷史郎、石原友明、久保田晃弘、畠中実、松井茂、加治屋健司と）、於・旧崇仁小学校